

イプシロンロケット 3 号機(ε3)の打上げ結果(安全確保状況)について(報告)

平成 30(2018)年 3 月 15 日
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
第一宇宙技術部門 鹿児島宇宙センター所長
藤田 猛

1. 報告事項

(1) 打上げ結果概要

高性能小型レーダ衛星(ASNARO-2)を搭載したイプシロンロケット 3 号機(ε3)を、平成 30 年 1 月 18 日(木)06 時 06 分 11 秒(日本標準時)に打上げ、所定の軌道に投入した。

本打上げは、当初平成 30 年 1 月 17 日(水)に予定されていたが、打上げ当日の天候悪化が予想されたため、打上げ日を平成 30 年 1 月 18 日(木)に延期したものの。

なお、JAXA が打上げ執行及び打上げ安全監理の全業務を実施した。

2. 安全確保業務の実施結果

JAXA は、飛行安全計画、地上安全計画及びその他の要領等に基づき、打上げに係る安全確保業務(射場整備作業の安全、射場周辺の住民への周知、打上げ当日の住民退避、警戒、ロケットの飛行安全)及び関係機関に対する打上げ情報の通報(ロケット打上げの実施の有無に係る連絡、航空機及び船舶の航行安全のための事前通報並びに打上げ情報の周知)を行った。

落下物(衛星フェアリング、第 1 段、第 2 段)については、全て設定した落下予想区域内に落下したと推定している。

3. 次号機以降への対応

JAXA は、平成 30 年 3 月 16 日(金)にイプシロンロケット 3 号機の打上げ後審査を実施し、打上げの評価を行い、次号機以降への反映事項の抽出を行う予定。

抽出された反映事項については、次号機以降に向けて処置を行う。



以上